R3.3公表

【　国立市　】令和2年度 東京都がん検診精度管理評価事業結果シート
＜胃がん検診（胃部エックス線検査）＞

がん検診実施状況

＜国の指針に基づく胃がん検診の実施状況(R2年度)＞

対象年齢（50歳以上・隔年） ※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可	している
検査方法（胃部エックス線検査）	している
検査方法（胃内視鏡検査）	していない

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況(R2年度)＞

対象年齢以外の実施	胃部エックス線（35～39歳）
上記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査

＜住民の検診受診状況(H30年度)＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	15,367	17,562	32,929
対象者数（※）	8,667	9,905	18,572
受診者数(胃X線)	296	290	586

※対象者数は、該当年齢の人口に東京都調査に基づく対象人口率（市町村部：56.4%）を乗じた値

がん検診の精度管理指標の状況

※精度管理指標とは？
http://canscreen.ncc.go.jp/management/m_about/hyouka.html（国立がん研究センター社会と健康研究センターHP）

◆プロセス指標　（H30年度）

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	5.1%	4.5%	4.7%
要精検率	11%以下	11.5%	6.9%	9.2%
精検受診率	70%以上	94.1%	100.0%	96.3%
精検未把握率	10%以下	5.9%	0.0%	3.7%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	5.9%	0.0%	3.7%
がん発見率	0.11%以上	0.68%	0.00%	0.34%

＊受診率はエックス線検査または内視鏡検査を受診した者の合算集計である

【評価コメント】

＜受診率＞

目標値未達成のため、受診率50%を目指して取り組んでください。

＜精検受診率・未受診率・未把握率＞

目標値を達成しています。引き続き精検受診率の向上に取り組んでください。

＜要精検率＞

指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。（参考：許容値に比べ極端に高値又は低値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。）

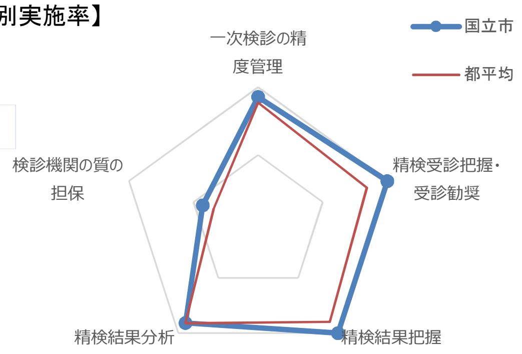
＜陽性反応適中度・がん発見率＞

指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。（参考：低値、あるいは極端に高値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。）

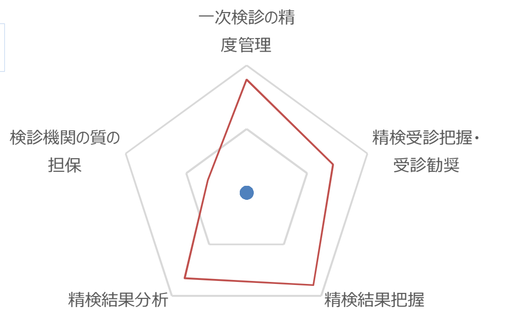
◆技術・体制指標　（令和2年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果より）

【項目別実施率】

集団



個別



【都評価基準に基づく評価】

※都評価基準とは？
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/torikumi-kankei/kyougikai/pdf/01_1_siryo4.pdf
（とうきょう健康ステーションHP）

	実施率	評価
集団検診	88.5%	B
個別検診	－	－

⇦ 評価「C」以下を改善指導対象とする。

【評価コメント】

集団

＜精検結果分析＞
プロセス指標を性／年齢階級／検診機関／受診歴別に分析し、許容値と比較して不適正の場合は問題点を確認し対策を講じましょう。

＜検診機関の質の担保＞
引き続き「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の遵守状況を確認するとともに、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標をフィードバックしましょう。

個別

※レーダーチャートの各項目とチェックリストの設問との対応表はコチラ⇒ https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/toukei/pdf/2021/chart_koumoku.pdf

R3.3公表

【　国立市　】令和2年度 東京都がん検診精度管理評価事業結果シート
＜胃がん検診（胃内視鏡検査）＞

がん検診実施状況

＜国の指針に基づく胃がん検診の実施状況(R2年度)＞

対象年齢（50歳以上・隔年） ※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可	している
検査方法（胃部エックス線検査）	している
検査方法（胃内視鏡検査）	していない

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況(R2年度)＞

対象年齢以外の実施	していない
上記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査

＜住民の検診受診状況(H30年度)＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	15,367	17,562	32,929
対象者数(※)	8,667	9,905	18,572
受診者数(内視鏡)	0	0	0

※対象者数は、該当年齢の人口に東京都調査に基づく対象人口率（市町村部：56.4%）を乗じた値

がん検診の精度管理指標の状況

※精度管理指標とは？
http://canscreen.ncc.go.jp/management/m_about/hyouka.html（国立がん研究センター社会と健康研究センターHP）

◆プロセス指標　(H30年度)

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	5.1%	4.5%	4.7%
要精検率	11%以下			
精検受診率	70%以上			
精検未把握率	10%以下			
精検未受診率	20%以下			
陽性反応適中度	1.0%以上			
がん発見率	0.11%以上			

※受診率はエックス線検査または内視鏡検査を受診した者の合算集計である
※あるべき値（許容値等）は、胃部エックス線検査による胃がん検診の数値である

【評価コメント】

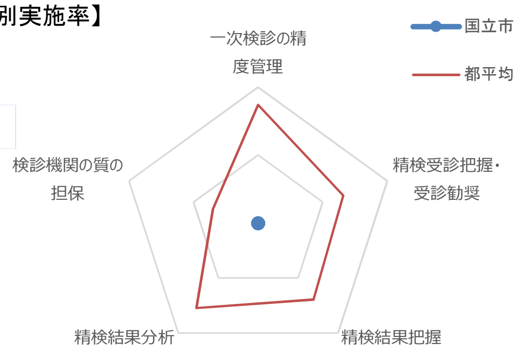
＜受診率＞

目標値未達成のため、受診率50%を目指して取り組んでください。

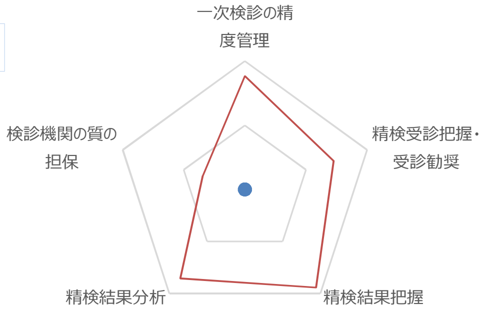
◆技術・体制指標　（令和2年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果より）

【項目別実施率】

集団



個別



【都評価基準に基づく評価】

※都評価基準とは？
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/torikumi-kankei/kyougikai/pdf/01_1_siryo4.pdf
（とうきょう健康ステーションHP）

	実施率	評価
集団検診	－	－
個別検診	－	－

⇦ 評価「C」以下を改善指導対象とする。

【評価コメント】

集団

個別

※レーダーチャートの各項目とチェックリストの設問との対応表はコチラ⇒ https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/toukei/pdf/2021/chart_koumoku.pdf

【　国立市　】令和2年度 東京都がん検診精度管理評価事業結果シート ＜肺がん検診＞

がん検診実施状況

＜国の指針に基づく肺がん検診の実施状況(R2年度)＞

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況(R2年度)＞

対象年齢以外の実施	していない
上記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況(H30年度)＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	21,320	23,556	44,876
対象者数(※)	13,538	14,958	28,496
受診者数	395	431	826

※対象者数は、該当年齢の人口に東京都調査に基づく対象人口率(市町村部:63.5%)を乗じた値

がん検診の精度管理指標の状況

※精度管理指標とは？
http://canscreen.ncc.go.jp/management/m_about/hyouka.html（国立がん研究センター社会と健康研究センターHP）

◆プロセス指標　(H30年度)

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	2.9%	2.9%	2.9%
要精検率	3%以下	2.0%	2.3%	2.2%
精検受診率	70%以上	87.5%	100.0%	94.4%
精検未把握率	10%以下	12.5%	0.0%	5.6%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.3%以上	12.5%	0.0%	5.6%
がん発見率	0.03%以上	0.25%	0.00%	0.12%

【評価コメント】

＜受診率＞

目標値未達成のため、受診率50%を目指して取り組んでください。

＜精検受診率・未受診率・未把握率＞

目標値を達成しています。引き続き精検受診率の向上に取り組んでください。

＜要精検率＞

指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。(参考：許容値に比べ極端に高値又は低値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。)

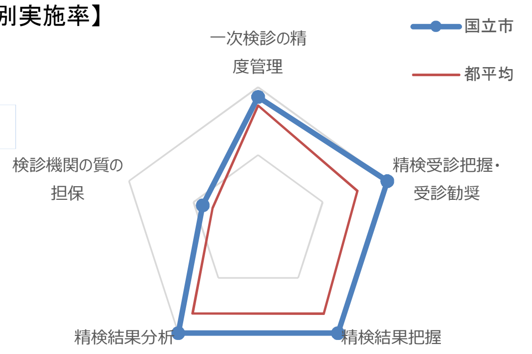
＜陽性反応適中度・がん発見率＞

指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。(参考：低値、あるいは極端に高値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。)

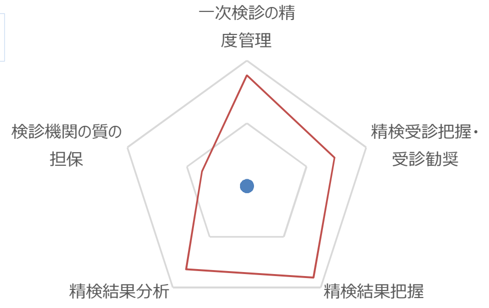
◆技術・体制指標　(令和2年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果より)

【項目別実施率】

集団



個別



【都評価基準に基づく評価】

※都評価基準とは？
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/torikumi-kankei/kyougikai/pdf/01_1_siryo4.pdf
(とうきょう健康ステーションHP)

	実施率	評価
集団検診	90.2%	B
個別検診	－	－

⇦ 評価「C」以下を改善指導対象とする。

【評価コメント】

集団

＜一次検診の精度管理＞
検診対象者名簿及び受診台帳により個人ごとの受診歴を管理し、検診機関用チェックリストの「受診者への説明」が全て記載された資料を配付してがんと検診の正しい情報を伝えましょう。

＜検診機関の質の担保＞
引き続き「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の遵守状況を確認するとともに、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標をフィードバックしましょう。

個別

※レーダーチャートの各項目とチェックリストの設問との対応表はコチラ⇒ https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/toukei/pdf/2021/chart_koumoku.pdf

R3.3公表

【　国立市　】令和2年度 東京都がん検診精度管理評価事業結果シート
＜大腸がん検診＞

がん検診実施状況

＜国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況(R2年度)＞

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査(二日法)）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況(R2年度)＞

対象年齢以外の実施	していない
上記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況(H30年度)＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	21,320	23,556	44,876
対象者数(※)	12,707	14,039	26,746
受診者数	2,785	4,292	7,077

※対象者数は、該当年齢の人口に東京都調査に基づく対象人口率(市町村部:59.6%)を乗じた値

がん検診の精度管理指標の状況

※精度管理指標とは？
http://canscreen.ncc.go.jp/management/m_about/hyouka.html（国立がん研究センター社会と健康研究センターHP）

◆プロセス指標　(H30年度)

	あるべき値(許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	21.9%	30.6%	26.5%
要精検率	7%以下	12.7%	7.2%	9.3%
精検受診率	70%以上	56.5%	50.8%	53.9%
精検未把握率	10%以下	28.0%	28.3%	28.1%
精検未受診率	20%以下	15.5%	20.8%	18.0%
陽性反応適中度	1.9%以上	6.5%	5.5%	6.1%
がん発見率	0.13%以上	0.83%	0.40%	0.57%

【評価コメント】

＜受診率＞

目標値未達成のため、受診率50%を目指して取り組んでください。

＜精検受診率・未受診率・未把握率＞

未把握率が高値です。改善に向けた取組をご検討ください。
【取組例】精検結果報告書の導入、要精検者本人へのアンケート調査、要精検者への精検実施医療機関リストの提示等

＜要精検率＞

指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。（参考：許容値に比べ極端に高値又は低値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。）

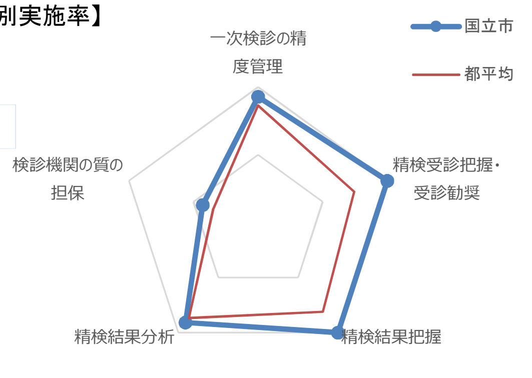
＜陽性反応適中度・がん発見率＞

指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。（参考：低値、あるいは極端に高値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。）

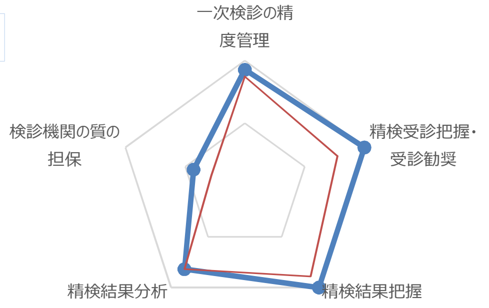
◆技術・体制指標　（令和2年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果より）

【項目別実施率】

集団



個別



【都評価基準に基づく評価】

※都評価基準とは？
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/torikumi-kankei/kyougikai/pdf/01_1_siryo4.pdf
（とうきょう健康ステーションHP）

	実施率	評価
集団検診	88.5%	B
個別検診	86.5%	B

⇦ 評価「C」以下を改善指導対象とする。

【評価コメント】

集団

＜精検結果分析＞
プロセス指標を性／年齢階級／検診機関／受診歴別に分析し、許容値と比較して不適正の場合は問題点を確認し対策を講じましょう。

＜検診機関の質の担保＞
引き続き「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の遵守状況を確認するとともに、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標をフィードバックしましょう。

個別

＜精検結果分析＞
プロセス指標を性／年齢階級／検診機関／受診歴別に分析し、許容値と比較して不適正の場合は問題点を確認し対策を講じましょう。

＜検診機関の質の担保＞
引き続き「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の遵守状況を確認するとともに、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標をフィードバックしましょう。

※レーダーチャートの各項目とチェックリストの設問との対応表はコチラ⇒ https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/toukei/pdf/2021/chart_koumoku.pdf

R3.3公表

【　国立市　】令和2年度 東京都がん検診精度管理評価事業結果シート
＜子宮頸がん検診＞

がん検診実施状況

＜国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況(R2年度)＞

対象年齢（20歳以上・隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況(R2年度)＞

対象年齢以外の実施	していない
上記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況(H30年度)＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		32,823	
対象者数(※)		19,825	
受診者数		1,919	

※対象者数は、該当年齢の人口に東京都調査に基づく対象人口率（市町村部：60.4%）を乗じた値

がん検診の精度管理指標の状況

※精度管理指標とは？
http://canscreen.ncc.go.jp/management/m_about/hyouka.html（国立がん研究センター社会と健康研究センターHP）

◆プロセス指標　（H30年度）

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		19.9%	
要精検率	1.4%以下		2.2%	
精検受診率	70%以上		62.8%	
精検未把握率	10%以下		37.2%	
精検未受診率	20%以下		0.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		2.3%	
がん発見率	0.05%以上		0.05%	

【評価コメント】

＜受診率＞

目標値未達成のため、受診率50%を目指して取り組んでください。

＜精検受診率・未受診率・未把握率＞

未受診者の把握が課題です。精検受診勧奨等により、精検受診率向上及び未受診者の把握に努めてください。

＜要精検率＞

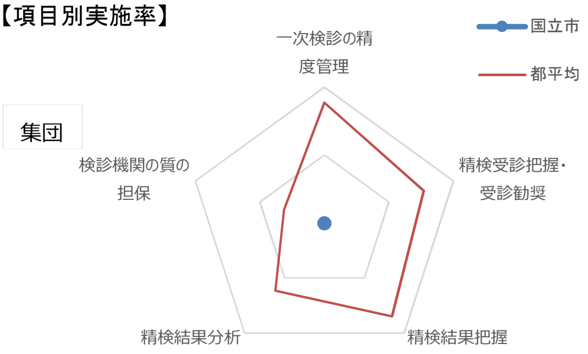
指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。（参考：許容値に比べ極端に高値又は低値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。）

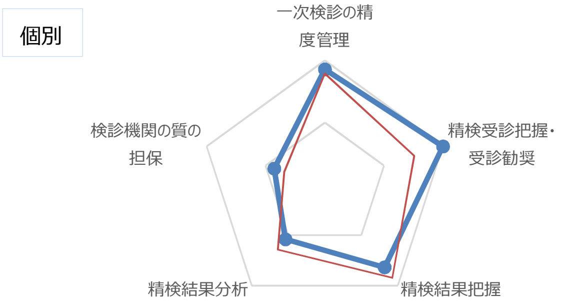
＜陽性反応適中度・がん発見率＞

指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。（参考：低値、あるいは極端に高値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。）

◆技術・体制指標　（令和2年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果より）

【項目別実施率】





【都評価基準に基づく評価】

※都評価基準とは？
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/torikumi-kankei/kyougikai/pdf/01_1_siryo4.pdf
（とうきょう健康ステーションHP）

	実施率	評価
集団検診	－	－
個別検診	76.4%	C

評価「C」以下を改善指導対象とする。

【評価コメント】

集団

個別
＜精検結果分析＞
プロセス指標を性／年齢階級／検診機関／受診歴別に分析し、許容値と比較して不適正の場合は問題点を確認し対策を講じましょう。

＜検診機関の質の担保＞
引き続き「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の遵守状況を確認するとともに、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標をフィードバックしましょう。

※レーダーチャートの各項目とチェックリストの設問との対応表はコチラ⇒ https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/toukei/pdf/2021/chart_koumoku.pdf

R3.3公表

【　国立市　】令和2年度 東京都がん検診精度管理評価事業結果シート
＜乳がん検診＞

がん検診実施状況

＜国の指針に基づく乳がん検診の実施状況(R2年度)＞

対象年齢（40歳以上・隔年）	している
検査方法（マンモグラフィ）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況(R2年度)＞

対象年齢以外の実施	していない
上記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況(H30年度)＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		23,556	
対象者数(※)		15,052	
受診者数		892	

※対象者数は、該当年齢の人口に東京都調査に基づく対象人口率（市町村部：63.9%）を乗じた値

がん検診の精度管理指標の状況

※精度管理指標とは？
http://canscreen.ncc.go.jp/management/m_about/hyouka.html（国立がん研究センター社会と健康研究センターHP）

◆プロセス指標 （H30年度）

	あるべき値（許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		11.6%	
要精検率	11%以下		8.7%	
精検受診率	80%以上		88.5%	
精検未把握率	10%以下		10.3%	
精検未受診率	10%以下		1.3%	
陽性反応適中度	2.5%以上		3.8%	
がん発見率	0.23%以上		0.34%	

【評価コメント】

＜受診率＞

目標値未達成のため、受診率50%を目指して取り組んでください。

＜精検受診率・未受診率・未把握率＞

許容値を満たしています。目標値90%の達成に向けた取組の強化をご検討ください。

＜要精検率＞

指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。（参考：許容値に比べ極端に高値又は低値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。）

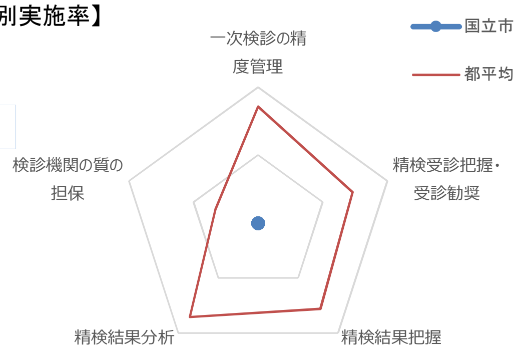
＜陽性反応適中度・がん発見率＞

指標値を注視し、異常値がある場合は、受診勧奨方法の見直しや検診機関の体制の確認等をご検討ください。（参考：低値、あるいは極端に高値の場合は、受診者構成の偏りや、検査精度が低いことが考えられます。）

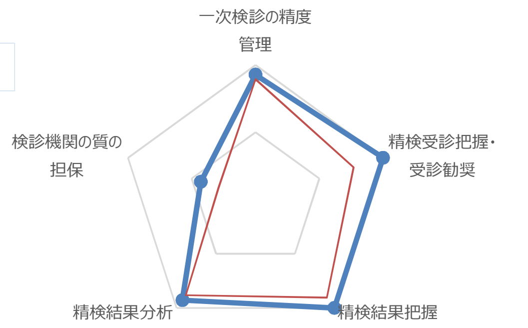
◆技術・体制指標 （令和2年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果より）

【項目別実施率】

集団



個別



【都評価基準に基づく評価】

※都評価基準とは？
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/torikumi-kankei/kyougikai/pdf/01_1_siryo4.pdf
（とうきょう健康ステーションHP）

	実施率	評価
集団検診	－	－
個別検診	89.1%	B

⇦ 評価「C」以下を改善指導対象とする。

【評価コメント】

集団

個別

＜一次検診の精度管理＞
検診対象者名簿及び受診台帳により個人ごとの受診歴を管理し、検診機関用チェックリストの「受診者への説明」が全て記載された資料を配付してがんと検診の正しい情報を伝えましょう。

＜検診機関の質の担保＞
引き続き「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を網羅した仕様書を用い、検診終了後は仕様書の遵守状況を確認するとともに、検診機関ごとにチェックリスト実施状況やプロセス指標をフィードバックしましょう。

※調査対象年度である令和2年度・平成30年度のいずれかが検診未実施の場合は、評価不能のためレーダーチャートは表示していない

※レーダーチャートの各項目とチェックリストの設問との対応表はコチラ⇒ https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/toukei/pdf/2021/chart_koumoku.pdf